

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	教育施設小委員会	主 査 名：垣野 義典 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (施設計画運営委員会)	委員長名：小野田 泰明 主 査 名：小篠 隆生
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設に関する情報収集・研究を継続的に行い、テーマを選定してシンポジウム・研究会等を実施する。</li> <li>・研究者・設計者の交流・研究討議の場、若手研究者育成の場を設ける。</li> <li>・教育施設計画の最新動向について情報発信を行う。</li> <li>・学校体系の変化に対応した学校建築計画について検討する。</li> </ul> <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刊行物を周知するための公開研究会を開催し、戦後の学校建築の成果と課題についての議論を進める。</li> <li>・義務教育学校の制度化などの学校体系の変化に対応した施設の計画について、公開研究会の開催などを企画する。</li> <li>・少子化、公共施設老朽化などを背景とした、学校統廃合、複合化に関する公開研究会の検討を進める。</li> <li>・若手研究者の発表会や委員による研究・計画事例発表会等を開催し、若手研究者の育成、情報交換・研究交流促進、新しいテーマの発掘を進める。</li> <li>・最新事例および歴史的学校建築の施設見学会を実施する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：垣野義典 (東京理科大) 幹事：戸張秀隆 (梓設計)、立花美緒 (東京工業大学) 委員：伊藤俊介 (東京電機大学)、川島智生 (京都華頂大)、笠井尚 (中部大)、小泉治 (日本設計)、高橋政志 (石本建築事務所)、藤原直子 (九州大学)、宮本文人 (東工大)、八木真爾 (佐藤総合計画)、下倉玲子 (呉工業高等専門学校)、栗崎真一郎 (広島工業大学)、廣瀬和徳 ((株)教育環境研究所)、西村文彦 (文部科学省)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>学校体系の変化に対応した学校建築計画検討 WG</p> <p>近年学校を取り巻く重要かつ喫緊の課題は、山積し残されたままである。本 WG では、こういった学校体系の変化に如何に対応してゆくべきか、大いに危機感をもって情報収集と蓄積、対応策の検討をすすめ、その結果をもとに公開研究会を開催し社会貢献を図る。</p>	
2020 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="https://aijschoolarchitecture.wordpress.com/">https://aijschoolarchitecture.wordpress.com/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	<p>1. スクールアメニティ 2020 年 7 月号 pp. 38-44 学校建築のいま 海外編 No.4 『杭州師範大学附属湖州鶴和小学 (浙江省湖州市・中国)』</p> <p>2. スクールアメニティ 2021 年 1 月号 pp. 25-29 学校建築のいま 海外編 No.5 『フィンランドの小学校における ICT を用いた学習環境』</p> <p>3. スクールアメニティ, 2020 年 6 月号 pp. 41-49 学校建築タテヨコナナメ ver.4 教育学からの発信</p>
講習会	

<p style="text-align: center;"><b>催し物</b> (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画</p>	<p>1. 学校建築タテヨコナナメ ver.5「コロナ渦の学校建築- 建築学、教育学、現場、行政を横断して見えてくるこれから」 ZOOM 参加者数 50名</p> <p>2. American Institute of Architects(AIA New York) との Joint Meeting 「Reflections on School Design Beyond COVID-19」 2021年3月31日開催予定 ZOOM 参加予定者数 50名</p>
<p style="text-align: center;"><b>大会研究集会</b></p>	
<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	<p>研究会（学校建築タテヨコナナメ ver.5）を通じた「コロナ渦の学校建築」に関する情報発信</p>
<p style="text-align: center;"><b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. ここ3年にわたって、出版社スクールアメニティとタイアップして進めている「学校建築 タテヨコナナメ」を1度開催し、実務者、研究者、現場職員に情報を公開、交換する場を設け意見交換を図るとともに、3つの寄稿ができた。</p> <p>2. コロナ感染症の影響で委員会開催回数は最小限にとどめたが、開催時には委員や外部の建築家をオブザーバーにむかえ、より最新計画事例の報告が行われるなど、内容の濃い議論や情報交換ができた。</p> <p>3. 年度末にニューヨークの建築家協会との国際交流会を開催予定である。今後は、韓国等、教育施設に関連する国際的な組織、団体とも積極的な情報交換を行い、世界各地の動向をとらえ情報を発信していく予定である。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>1. 国内外の教育施設を対象とする小委員会であるため、全国から委員を集める必要があると考えるが、委員会予算では委員招集のための交通費が賄えず、大きな交通費負担をお掛けすることになってしまう。2020年度は全てZOOMで開催したが、比較的スムーズな運営ができたため、2021年度も引き続き検討していきたい。</p> <p>2. 年々、防犯上、個人情報などの観点から、施設の現地視察を公開型で開催するのは難しくなっている。</p>